

# 琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄復帰記念式典(1) (閣議決定、関係省庁連絡会議)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43577">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43577</a>

第一回 今議

アメリカ局長  
参事官  
官房総務参事官 儀典官  
官房書記官 儀典官、報道課長 北米第一課長

沖縄復帰記念式典準備に関する連絡会議  
の開催について

47. 1. 29  
北米第一課

29日午前総理府において、本件に関する第1回連絡  
会議が開催された(当方より深田課長出席)と云ふ。栗山

式典準備室長より式典の開催準備に関する諸説明  
(関係資料別添参照)が行なわれ、今後準備室にお

いて本件式典を具体化することを申し合せた。  
なお、米側はかかる式典をいかに考へてい

かとの質問があつたのと採し、深田課長より米側  
は目下部内検討中であり、ある程度の成果を擧し  
(完)

たいわが方に協議越す予定であるが、何れ米側の  
意向判明次第にお知らせしたいと述べた。

総理府本府内連絡会議 (第1回)

会議資料

1. 沖縄復帰記念式典の開催準備について
2. 沖縄復帰記念式典準備室連絡協議会設置要領
3. 沖縄復帰記念式典準備室設置要領
4. " 組織図
5. " 事務分掌
6. 沖縄復帰記念式典開催に必要な経費
7. 検討事項
8. 参考表
9. 参考表
10. 式典演出候補名簿
11. 沖縄記念式典に関する広報計画

沖繩復帰記念式典の開催準備について

昭和四十七年一月十八日  
閣議口頭了解

去る一月七日の米国サンクレメンテにおける佐藤内閣総理大臣とニクソン米大統領との会談において、沖繩復帰の日が昭和四十七年五月十五日と合意されたことに伴ない、返還協定批准書交換前ではあるが、この際

- (1) 全国民あげて沖繩復帰を祝賀し、記念するため、昭和四十七年五月十五日に東京都及び那覇市において、国の行事として沖繩復帰記念式典を実施すること、
- (2) 各省庁の協力を得て、総理府において式典実施の準備を進めること、
- (3) 式典実施の準備について関係行政機関等の緊密な連絡を図るため、総理府に、総務副長官が主宰し、各省庁及び琉球政府の関係局長等を構成員とする沖繩復帰記念式典準備連絡協議会を設置すること、
- (4) この協議会の構成員、運営等については総理府総務長官の定めるところによることとする。

といたしたい。

なお、返還協定批准書が交換された後、あらためて、沖繩復帰記念式典の実施等について閣議決定を求めるといたしたい。

沖縄復帰記念式典準備連絡協議会  
設置要領

(昭和47年1月18日)  
内閣総理大臣官房

1. 沖縄復帰記念式典実施の準備について関係行政機関等の緊密な連絡を図るため、総理府に、各省庁及び琉球政府の関係局長等を構成員とする沖縄復帰記念式典準備連絡協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

2. 協議会は、栗山総理府総務副長官が主宰する。

3. 協議会の構成員は、次のとおりとする。

内閣総理大臣官房審議室長

同 総務課長

同 人事課長

同 会計課長

同 広報室長

同 管理室長

総理府青少年対策本部次長

警察庁長官官房長

宮内庁参事官

防衛庁長官官房長

沖縄・北方対策庁総務部長

外務大臣官房長

大蔵省大臣官房長

文部省大臣官房長

厚生大臣官房長

郵政大臣官房長

自治大臣官房長

消防庁次長

琉球政府東京事務所長

4. 協議会は、必要に応じ、構成員以外の者の出席を求めて意見を聴取することができる。

5. 協議会の庶務は、関係各省庁等の協力を得て、内閣総理大臣官房において処理する。

6. その他協議会の運営に関し必要な事項は、栗山総理府総務副長官が定める。

沖縄復帰記念式典準備室設置要領

昭和47年1月18日  
総務長官決裁

沖縄復帰記念式典開催の準備等に関する事務を処理するため、内閣総理大臣官房に下記により沖縄復帰記念式典準備室（以下「準備室」という。）を設ける。

記

1. 準備室の長は栗山総務副長官とし、岡部沖縄・北方対策庁長官を室長代理とする。また、岡田沖縄・北方対策庁総務部長、小田村内閣総理大臣官房審議室長および吉岡同管理室長を準備室次長とする。
2. 準備室の構成は、総務担当、企画担当、式典担当、渉外担当、広報担当および那覇分室とし、所要の職員を配置する。  
各担当の業務分担細目については、準備室長の定めるところによる。
3. 那覇分室は、沖縄・北方対策庁沖縄事務局内に置く。
4. 準備室の職員のうち、内閣総理大臣官房以外の職員については、必要に応じ、内閣総理大臣官房付等の併任発令を行なう。
5. 準備室には、琉球政府職員の参加を求めるものとする。

6. その他、準備室の事務運営について必要な事項は、準備室長が定める。

（備考）

なお、準備室の円滑適切な事務運営を図るため、総理府本府内に、沖縄復帰記念式典総理府本府内連絡会議を設置する。

連絡会議は、栗山総務副長官が主宰するものとし、その構成員は、沖縄・北方対策庁総務部長、内閣総理大臣官房審議室長、同総務課長、同人事課長、同会計課長、同広報室長、同管理室長等とする。

(47 / 1 24)

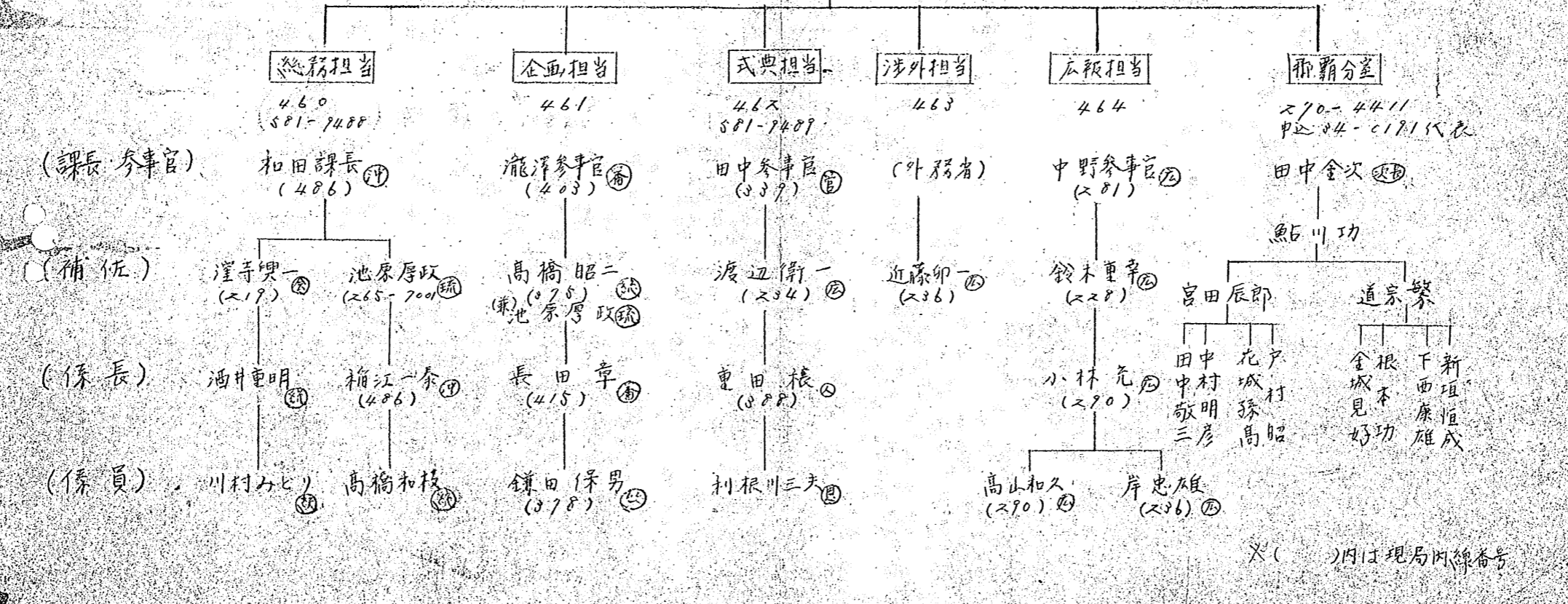
# 沖繩復帰記念式典準備室組織図

(室長) 栗山 総務副長官 (秘書室 272)  
 (室長代理 内閣府対策局長官) (241)

—— 総理府内連絡会議 ——

(次長) 岡田 対策庁総務部長 (242)  
 小田村 審議室長 (401)  
 吉岡 管理室長 (235)

岩倉 公文書館長 (24-0661)  
 岡田 対策庁総務部長 (242)  
 翁 総務課長 (208)  
 後藤 人事課長 (281)  
 国塚 会計課長 (201)  
 小田村 審議室長 (401)  
 松本 広報室長 (231)  
 吉岡 管理室長 (235)  
 清水 青少年対策本部次長 (287)



※ ( )内は現局内線番号

沖縄復帰記念式典準備室事務分掌

昭和47年7月27日

栗山準備室長 決裁

沖縄復帰記念式典準備室（以下「準備室」という。）の事務分掌を次のとおり定める。

ただし、準備室長の指示により、必要に応じ、その事務分担を臨時に変更することができる。

1. 総務担当

- (1) 準備室の庶務、会計、人事等の一般管理事務
- (2) 沖縄復帰記念式典準備連絡協議会及び沖縄復帰記念式典総理府本府内連絡会議の庶務に関する事務
- (3) 沖縄との連絡に関する事務
- (4) 宮内庁との連絡に関する事務
- (5) 式典参列者等への配付資料のとりまとめに関する事務
- (6) 仮設電話の設置に関する事務
- (7) 駐車場に関する事務
- (8) 式典参列者の送迎計画に関する事務
- (9) 沖縄関係者等の宿舎に関する事務
- (10) 記念品等に関する事務

(1) 記念切手及び記念たばこ等に関する事務

(2) その他準備室の事務で他の所掌に属しない事務

2. 企画担当

- (1) 準備室の事務の総括及び総合調整
- (2) 式典実施準備のための総合日程の作成及び調整に関する事務
- (3) 式典関係警備、救護等に関する事務
- (4) 式典実行組織の準備の総括に関する事務

3. 式典担当

- (1) 沖縄復帰記念式典委員等に関する事務
- (2) 式典次第の作成に関する事務
- (3) 式典参列者の選定並びに参列者名簿及び招待状の作成等に関する事務
- (4) 会場の装置装飾に関する事務
- (5) 式場席割図の作成に関する事務
- (6) 会場の部屋割り等に関する事務

4. 渉外担当

米国大使館等在日公館との連絡に関する事務

5. 広報担当

- (1) 報道機関との連絡に関する事務



- (2) 式典の記録映画作成に関する事務
- (3) 式典の記録用写真撮影及び記録に関する事務
- (4) ポスターの作成、配付等に関する事務
- (5) その他広報に関する事務

6. 那覇分室

- (1) 那覇市における式典実施の準備に関する事務

○ 冲繩復興基金紀念式典開催に必要経費 (單位 4月)

科目	目	予算	種類	内 容	記
押配受保社公社典開		24005			
債に必要経費					
東京前催経費		65166A			
諸財金		466A			
外国旅費		7185			
方 費		57515			
				本 <sup>229</sup> -印刷 12374, 紀念品 12000, 10.800 半量用記念品 206108, 12,550	
				本 <sup>229</sup> -印刷 183000 枚 2745, 招待状印刷 400, 祝典支地投受印刷 500 <sup>1</sup>	
				440, 祝典行事等記録印刷 1000部 1453, 雑印刷 300, 本 <sup>229</sup> -送料 2001	
				招待状音送料 176, 祝典行事等記録送料 249, 電話料 193,	
				日本武道館借料 2205, 武道館附等施設借料 1247, 参列者送迎用入 <sup>229</sup> 借料	
				1850, 会場費 402, 賃金 375, 祝典会場運営 7568,	
				祝典記録用写真 247, 記録映画製作 5000	
那覇前催経費		8827			
諸財金		466A			
外国旅費		878A			
方 費		7491			
				式典貸出 200, 式典司会 30, 式典記録撮影 20, RBC交響楽団合唱団	
				200, 救護医師在 <sup>229</sup> 18,	
				式典開催準備本行連絡 4人 388A, 現地旅費 20人 490,	
				記事 281, 招待状等印刷 100, 本行 <sup>229</sup> 電話料 154, 招待状送料	
				45, 式典会場借料 139, 会場用帶捲機借料 242, 参列者送迎用	
				入 <sup>229</sup> 借料 300, 賃金 50, 会場費 170, 会場館付 5522	
				記録用写真 384,	

検 討 事 項

1 式典関係

- (1) 名 称 「沖縄復帰記念式典」、沖縄復帰祝賀式典、沖縄復帰記念祝典 etc. (なお、小笠原の場合には「返還」の用語が用いられた)
- (2) 主催・式典委員等…内閣、総理府、沖縄県との共催  
式典委員等の委嘱
- (3) 日 時 開会の時刻、那覇会場との同時併行  
返還式との関係 } 二元放送
- (4) 式典内容 趣旨(テーマ、基調)、演出
- (5) 招待・参列者…総数、推せん基準等
- (6) 参列者への配付物…沖縄の地図、県勢要覧、時の動き(経緯、復帰対策等)
- 2 関連行事等
- (1) 記念品…対象、品目(参列者用ー東京会場:サンゴのネクタイピン、  
シンガソラの焼物、缸型等、那覇会場、沖縄小中学生用…  
…シャープペンシル・アルバム・クレヨン
- (2) 記念切手、たばこ等
- (3) 式典当日の勤務上の取扱い、国旗掲揚等の留意表明
- 3 広報関係
- (1) 二元放送
- (2) ポスター(種類…沖縄用・本土用、テーマ、部数)
- (3) 記録映画等

参 考

47.1.26

故吉田茂国葬儀参列者の明治100年記念式典  
参列者数一覽表

区分	行 事	故吉田茂国葬儀	明治100年記念	沖繩復帰記念
皇室			31(16)	
国会議員		700	693	
衆参両院正副議長			8(4)	
国務大臣			68(34)	
国家公務員		500	1,207	
地方公共団体		300		
特殊法人等関係		100	300	
明治100年記念準備 会議委員			66	
各界関係		2,600	4,780	
青少年代表			2,000	
在本邦大使等		200	172(86)	
報道関係			400	
自民党関係者		100		
元前国会議員		1,100		
遺族特別縁故者		300		
葬儀関係者		20		
その他			26(11)	
計		6,220	9,751(1,531)	

(注) 表中括弧外は参列者総数、括弧内の数字は夫婦  
同伴により招待する者の数を示す。

総 理 府

参 考

行 事 区 分	故吉田 茂国葬儀	小笠原 送還	明治100年記念	沖縄復帰記念式典
主 催	内 閣	財団法人 小笠原協会	内 閣	
後 援		総理府、自治省、外務省、東海 關東同胎後援会		
担当 部 局	内閣官房および内閣総理大臣官房		内閣官房および内閣総理大臣官房	
式典参列者の の 範 囲	総数 6,220人余 皇室：皇太子殿下、同妃殿下 他 遺族及び特別縁故者 内閣総理大臣及び各関係 国会議員 外交官 公務員代表 地方公共団体 会社、公団の長 自民党関係者 民間各界代表（宮中園遊会 等の各省割当数を参考とし、各 省庁及び官房人事課で決定）	総数 2,024人余 皇室：皇太子殿下、同妃殿下 他 内閣総理大臣及び各関係 国会議員（中特、地方行政、 内閣、外務各委員会、各党小笠原 委員会、各党三役） 駐日アメリカ大使館 各界代表 小笠原島民 東京都関係者 パレード参加団体代表者 （各省庁と連絡のうえ決定）	総数 9,751人 皇室：天皇、皇后両陛下他 他 内閣総理大臣及び各関係 参議院議長、副議長 国会議員 最高裁判事 公務員代表 特殊法人 準備委員 駐日外交官 各界代表、青少年代表 （各省庁と協議のうえ決定）	総数 10,000人（予定）
式典等委員	内閣総理大臣、総務長官、 官房副長官、総務副長官、 官房三課長、審議室長、広報室長 警察庁、防衛庁、外務省、自治省、 厚生省各官房長、外務省儀典長		内閣総理大臣及び各関係 （幹事）官房副長官、総務副長官 総理府官房各課室長、 警察庁、外務省、厚生省、自治省官房長	
配布物 および 記念品			官報に於る明治百年 明治百年記念行事概況 時の勅語（特集号） フオノシート（21世紀の日本） 写真立	

記念切手 記念たばこ 等	/	/	記念切手 祝典 2種類 行事 2種類 郵便スタンプ 祝典 1種類 行事 4種類 記念たばこ ロングピース 3種類	
勤務上の扱	午後より休み (閣議了解)	/	午後より休み (閣議決定)	
国旗掲揚	国旗掲揚による敬意 (閣議了解)	国旗掲揚による敬意 (閣議了解)	国旗掲揚による敬意 (閣議決定)	
飾付デザイン 等	村山装飾舞台(株) 日比谷花壇 に委嘱	/	演出、デザイン、進行 各専門家に委嘱	

式典演出候補名簿

氏名	年令	田舎	正
青山圭男	49	学芸院中退後、才エトリ、大園立才、パレ劇場、附属舞蹈学校、及び「トイト」の「メグウシエウレ」修学	
		職業家、才ハラ演出家、東洋音楽学校教師、日本舞踊連盟理事、日本芸術舞踊協会理事	
		(文部省芸術祭賞、伊越孝賞等、他)	
浅利慶太	38	学芸家、演出家、慶応大学仏文科	
		日本生、命、会館(日生劇場)営業制作担当後、著書「演劇の回復のための」 「下又の論」	
		日本大学芸術学部	
阿部広次	51	学芸家、演出家、(文部省芸術祭奨励賞「ウニシ伯文の遺稿」)	
		文化学院芸術部	
飯沢匡	62	学芸家、演出家、文化学院装置、演出家、日本放送作家協会評議員、著書「飯沢匡狂言集」	
		(才、同、岸田賞、NHK放送文化賞)	
		京都市立二高	
式井市郎	54	学芸家、演出家、日本演出家協会理事、(才、同、日生演劇愛演士部門「鳥」の演壇)	
		慶応大学経済学部	
		劇作、演出、評論、翻訳家、日本演劇協会常任理事、国際演劇協会常任理事、日本放送作家協会理事、著書「起、来、訪者」(翻訳)「演出入門」「新劇の言」	
		(NHK放送文化賞、毎日芸術賞)	
内村直也	61	学芸家	

氏名	年令	職	略 歴 証
松浦竹夫	43	学歴 職業	慶応義法科 演出版 (名古屋心ウヲヲ賞 岩田園士賞)
観世栄夫	43	学歴 職業	東京音楽学校 演出版 新劇演出者協会理事 東京大学文学部美術科 演出版 著「ヒメカク」 3部作「歌
木村光一	39	学歴 職業	慶応義法科 演出版 高枝 著作「新演説」 芸術祭奨励賞 (盤角部)
堂本正樹	37	学歴 職業	

姓 名 部



沖縄記念式典に関する広報計画	
1. 記録映画の作成	
1案	35ミリ、カラー、スタンダード判 上映時間40分程度 一般映画館での上映を目的とする。 予算 15,000,000円
2案	16ミリ、カラー、スタンダード判 上映時間40分程度 保存用プリント3本 予算 7,000,000円
3案(既定予算による計画)	16ミリ、カラー、スタンダード判 上映時間30分程度 保存用プリント3本 予算 5,000,000円

2. ポスターの作成	
種類	本土指示用、沖縄指示用の2種類 又は本土、沖縄、共通のもの1種類
テーマ	慶弔および記念式典の会場等の 周知を行うもの。 又は慶弔のみ(復帰おめでとう、国民 あやてこようこを子ども)
部数	200,000部(明治百年に同じ) 150,000部 127,000部(既定予算による)
	しかし沖縄指示用を作成する場合は 10,000部を沖縄指示用とする。
規格	B2判、オフセット6色又は4色 135キロ、110キロ用紙使用
予算	200,000部 4,200,000円 150,000部 3,900,000円 127,000部 2,745,000円

3. 武典の記録撮影

1案 カメラマン6名に依頼(うち2名を沖縄武場)

フィルム代等 約 450,000円

2案 カメラマン4名に依頼(うち1名を沖縄武場)

フィルム代等 約 330,000円

3案(概定予算)

カメラマン3名(沖縄系)

フィルム代等 200,000円

4. 武典記録アルバム作成

300頁印刷に53. アルバム作成

武典記録および復讐への歩みの記録を収録

現階僚丁代総務長官等関係者に配布

$5000^{\text{冊}} \times 200^{\text{部}} = 1,000,000^{\text{部}}$

$3,000^{\text{冊}} \times 200^{\text{部}} = 600,000^{\text{部}}$

$1,000^{\text{冊}} \times 1,000^{\text{部}} = 1,000,000^{\text{部}}$

沖縄復帰記念式典準備室事務分掌

昭和47年1月27日

栗山準備室長 決裁

沖縄復帰記念式典準備室（以下「準備室」という。）の事務分掌を次のとおり定める。

ただし、準備室長の指示により、必要に応じ、その事務分担を臨時に変更することができる。

1. 総務担当

- (1) 準備室の庶務、会計、人事等の一般管理事務
- (2) 沖縄復帰記念式典準備連絡協議会及び沖縄復帰記念式典総理府本府内連絡会議の庶務に関する事務
- (3) 沖縄との連絡に関する事務
- (4) 宮内庁との連絡に関する事務
- (5) 式典参列者等への配付資料のとりまとめに関する事務
- (6) 仮設電話の設置に関する事務
- (7) 駐車場に関する事務
- (8) 式典参列者の送迎計画に関する事務
- (9) 沖縄関係者等の宿舎に関する事務
- (10) 記念品等に関する事務

(11) 記念切手及び記念たばこ等に関する事務

(12) その他準備室の事務で他の所掌に属しない事務

2. 企画担当

- (1) 準備室の事務の総括及び総合調整
- (2) 式典実施準備のための総合日程の作成及び調整に関する事務
- (3) 式典関係警備、救護等に関する事務
- (4) 式典実行組織の準備の総括に関する事務

3. 式典担当

- (1) 沖縄復帰記念式典委員等に関する事務
- (2) 式典次第の作成に関する事務
- (3) 式典参列者の選定並びに参列者名簿及び招待状の作成等に関する事務
- (4) 会場の装置装飾に関する事務
- (5) 式場席割図の作成に関する事務
- (6) 会場の部屋割り等に関する事務

4. 渉外担当

米国大使館等在日公館との連絡に関する事務

5. 広報担当

- (1) 報道機関との連絡に関する事務

- (2) 式典の記録映画作成に関する事務
- (3) 式典の記録用写真撮影及び記録に関する事務
- (4) ポスターの作成，配付等に関する事務
- (5) その他広報に関する事務

6. 那覇分室

- (1) 那覇市における式典実施の準備に関する事務



沖繩復帰記念式典の開催準備について

昭和四十七年一月十八日  
閣議口頭了解

去る一月七日の米国サンクレメンテにおける佐藤内閣総理大臣とニクソン米国大統領との会談において、沖繩復帰の日が昭和四十七年五月十五日と合意されたことに伴ない、返還協定批准書交換前ではあるが、この際

- (1) 全国民あけて沖繩復帰を祝賀し、記念するため、昭和四十七年五月十五日に東京都及び那覇市において、国の行事として沖繩復帰記念式典を実施すること、
- (2) 各省庁の協力を得て、総理府において式典実施の準備を進めること、
- (3) 式典実施の準備について関係行政機関等の緊密な連絡を図るため、総理府に、総務副長官が主宰し、各省庁及び琉球政府の関係局長等を構成員とする沖繩復帰記念式典準備連絡協議会を設置すること、
- (4) この協議会の構成員、運営等については総理府総務長官の定めるところによることとする。

といたしました。

なお、返還協定批准書が交換された後、あらためて、沖繩復帰記念式典の実施等について閣議決定を求めるといたしました。

# 沖繩復興紀念式典準備室組織圖

(47 / 24)

(室長) 栗山 總務副長官 (秘書室 272)  
(室長代理 内部対策部長官) (241)

--- 総理府内連絡会議 ---

(次長) 岡田 対策庁 総務部長 (242)  
小田村 審議室長 (401)  
吉岡 管理室長 (335)

- 岩倉 公文書館長 (214-0661)
- 岡田 対策庁 総務部長 (242)
- 翁 総務課長 (308)
- 依藤 人事課長 (301)
- 岡場 会計課長 (201)
- 小田村 審議室長 (401)
- 松本 広報室長 (231)
- 吉岡 管理室長 (335)
- 清水 青少年対策部長 (287)

(課長 参事官)

(補佐)

(係長)

(係員)

総務担当

460  
SP1-7488

和田 課長 (426)

濱寺 興一 (217) 池原 厚政 (265-700)

酒井 重明 (417) 梅江 一奈 (486)

川村 美七 (417) 高橋 和枝 (417)

企画担当

461

龍澤 参事官 (403)

高橋 昭二 (378) 池原 厚政 (265-700)

長 田 章 (415)

鎌田 保男 (378)

式典担当

462  
SP1-7489

田中 参事官 (339)

渡辺 衛一 (234)

重田 稔 (388)

利根川 三夫 (388)

渉外担当

463

(外務省)

近藤 邦一 (236)

高山 和久 (270)

岸 忠雄 (236)

広報担当

464

中野 参事官 (281)

鈴木 重幸 (228)

小林 元 (270)

岸 忠雄 (236)

審議分室

270-4411  
SP1-7491 代表

田中 全次 (281)

魚川 功

宮田 辰郎 道宗 繁

田中 花戸 中村 城村 敏明 三彦 三彦 高昭

金根 下新 見本 西垣 好功 康恒 雄成

( ) 内行理局内連絡